

脳血管疾患に対応するリハビリテーション機器の開発（タイ）

株式会社メグウェル 荒田 純平

クラス分類：II

（研究期間： 令和6年度～令和8年度）

研究目標

- 新興国では、脳卒中に対する十分なりハビリテーション治療の環境が整っておらず、治療機会が不足している。そのため、日常生活動作の再獲得が困難で、患者の生活の質に大きく影響している。
- 本課題では、ロボット技術の導入により治療の省力化・質向上・機会拡大に資する装置を開発し、早期の提供を目指す。

研究成果

- 初年度である当該年度は、現地調査として北東部（コンケン）と中央部（バンコク、近郊を含む）の医療施設、脳卒中患者住居を訪問し、面談などを実施、ニーズを探索した。
- 調査の結果、日本の医療状況とは異なる状況が明らかになり、医療ニーズが抽出できた。

今後の展望

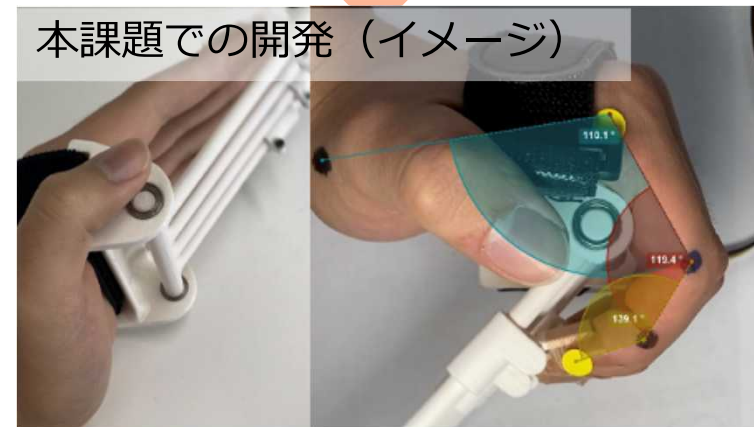
- 抽出されたニーズについて、研究開発を実施、コンセプト作成を現在行っている。
- コンセプトについて、改めて現地の医療機関等と意見交換し、開発へ役立てる。
- 今後、開発試作機を作製し、現地ユーザー試験により有効性を評価する。

先行して保有する技術



- ロボットによる手指運動支援
- 高性能な筋電位計測技術

本課題での開発（イメージ）



ロボットにより治療の省力化・質向上・機会拡大へつなげる